

前期基本計画の総括（概要）

1. 目的

「第6次塩竈市長期総合計画 前期基本計画」の計画期間が令和4年度（2022年度）～令和8年度（2026年度）となっていることから、前期基本計画に示した各施策について、これまでの取組等の検証・評価を行い、課題や今後の方向性についての確に把握することにより、後期基本計画に反映させるものです。

2. 前期基本計画の総括作業

実施状況	内容
施策の実施状況についての点検 (11月～12月中旬)	庁内施策担当部署に長期総合計画の施策（全8章、24施策の柱、第69節、171施策）の実施状況等の取りまとめ ○社会経済環境の変化 ○今後に向けた課題と必要性・重要性、今後の方向性
施策の点検について担当部署とのヒアリング (12月中旬～1月上旬)	庁内施策担当部署と事務局 ○前期基本計画の総括 ○後期基本計画策定に向けた追加、修正等

3. 前期基本計画の総括概要

(1) 人口の推移（別冊資料P9）
令和7年（2025年）12月末時点の住民基本台帳人口実績値は、現行長期総合計画に示す将来人口における令和8年（2026年）設定値である51,500人を約360人（0.7%）下回っていることから、移住定住施策の重点化を図る必要があります。
(2) しおがま未来創生プロジェクトの進捗状況（別冊資料P12）
重要目標達成指標（KGI）である「塩竈への愛着・誇りの醸成」の実績値は前期基本計画目標値（70%）を達成しています。4つの実感プロジェクト（すみよさ・よろこび・やりがい・にぎわい）については、一部で目標値に達しているものの、引き続き推進する必要があります。
(3) 施策の総括の概要（別冊資料P14～）
各分野に共通する社会経済環境の変化・課題の主なものとして、人口減少・少子高齢化の進展による担い手不足の加速化と物価高騰による経済負担の増加などがあり、後期基本計画の策定に向けては、それらの影響も踏まえながら施策を構築する必要があります。